

第6学年 学級活動（3） 題材構想図

未来に向けて

～卒業までになりたい自分を創る～

題材の目標

卒業をすること、中学生になることへの期待や不安をもちつつも、自分がすべきことを決めることに向き合い、自分のよさや可能性を生かして前向きに今できることを意志決定し、実行することができる。

題材の評価規準		
よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
希望や目標をもつことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつことについて、よりよく生きるための課題を意識し、解決方法について話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。

本題材のゴールに対するルーブリック

本題材のゴール			
「卒業に向けて自分ができることを考えよう」			
卒業をすること、中学生になることに向き合い、自分のよさや可能性を生かしてこれから何ができるのかについて話し合ったことをいかして自分が今できることを実践する。			
	関連付けて考える力	伝わるように表現する力	主体的にやりきる力
S	今までの自分の課題と関連付け、卒業までに自分ができることが自分の将来にどのように役立つか考えて実勢している。	卒業までの自分の課題から自分を高めるために、自分に合った解決方法を考え、問題点や改善点を明らかにして伝えている。	卒業までに将来自分がなりたい姿を考え、ペアやグループで解決方法を出し合い、自他の意見を認め合いながら、自分に合った解決方法を主体的に実践している。
A	今までの自分の課題と関連付け、卒業までに自分にできることや自分の将来について考えて実践している。	自分を高めるために、自分に合った解決方法を考え、問題点や改善点を明らかにして伝えている。	卒業までに自分がなりたい姿を考え、ペアやグループで解決方法を出し合い、自他の意見を認め合いながら、解決方法を主体的に実践している。
B	今までの自分の課題や経験から自分にできそうなことを考えて実践している。	自分に合った解決方法を考え、改善点を伝えている。	卒業までに自分がなりたい姿を考え、実践している。

他教科等及びSDG s との関連



〈国語科〉「いちばん大事なものは」「みんなで楽しく過ごすために」
〈道 徳〉「心をつなぐ音色-ピアニスト辻井伸行（A5）」「修学旅行の夜（A1）」
「愛華さんからのメッセージ（D20）」「せんばいの心を受けついで（C16）」
〈総合的な学習の時間〉「われら平和メッセンジャー」

